

国鉄485系“特急形電車”

「Express train STORY Vol.8」

カツミ史上初！「485系ボンネット型特急電車」誕生！特急全盛期時代を満喫してください！

クロ 481-102~104



サシ 481-15~29



モハ 484-601~614(M車)

クロ、クハ付属品ヘッドマーク ※別売はしていません。



485系クロ481-100クハ481-100ヘッドマーク

付属品の「ヘッドマーク」を付けて思い出の特急電車を再現してください。
側面に貼付する「JNR」マークもインレタで付属しています。



クハ 481-102~126

国鉄485系“特急形電車”

「Express train STORY Vol.7」

485系のラスト！「クハ481-201～263」の製作が始まりました。発売は2022年2月予定です。

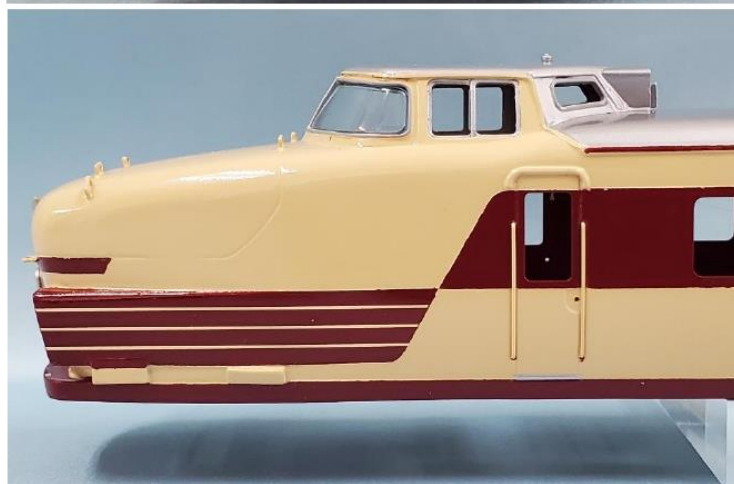
1972年分割併合が可能な特急として「貫通型・200番台」は誕生しました。
前面は「ロストワックス製」で貫通型の特徴を限りなく再現しました。



国鉄485系“特急形電車” 「Express train STORY Vol.6」

ボンネットの綺麗な形が光沢ある特急色で仕上がってきました。「クロ481-102~104」

前面の「赤ヒゲ」も塗装仕上げ。運転席上部の「ヘッドライト」は別塗装後取付けします。



ヘッドライトの細いクリーム帯は「デカール」で再現！



屋根の塗分けも綺麗に仕上がりました！



国鉄485系“特急形電車”

「Express train STORY Vol.5」

前面はロストワックス一体成型。ボンネット車の造形が見えてきました。「クハ481-102～126」

※画像は試作途中で運転席上部の「ヘッドライト」は付きません



<ハンダ付けのポイント>



① 前面と車体を合わせて一度○印箇所仮止めをする。左右仮止め後、全体の合わせ位置を確認してください。



② 屋上の合わせは多少段差が出るため仮止め後、削るなど調整してください。ココは接合の要、丁寧に合わせましょう！



③ ①②の仮止め調整後、ロスト一体成型にて裏側からハンダを流します。従来の「ロスト+プレス製」前面より部品の精度は向上しています！

国鉄485系“特急形電車” 「Express train STORY Vol.4」

1970年10月、東北特急の一部12両化に伴い誕生した「サハ481-1～14」が完成しました！



今回からクーラーはTOMIX製に変わります！

KTM®

国鉄485系“特急形電車”

「Express train STORY Vol.3」

新形式！初期型の食堂車「サシ481-15～29」の試作品が出来ました！



特徴は調理室側に通風口があります！

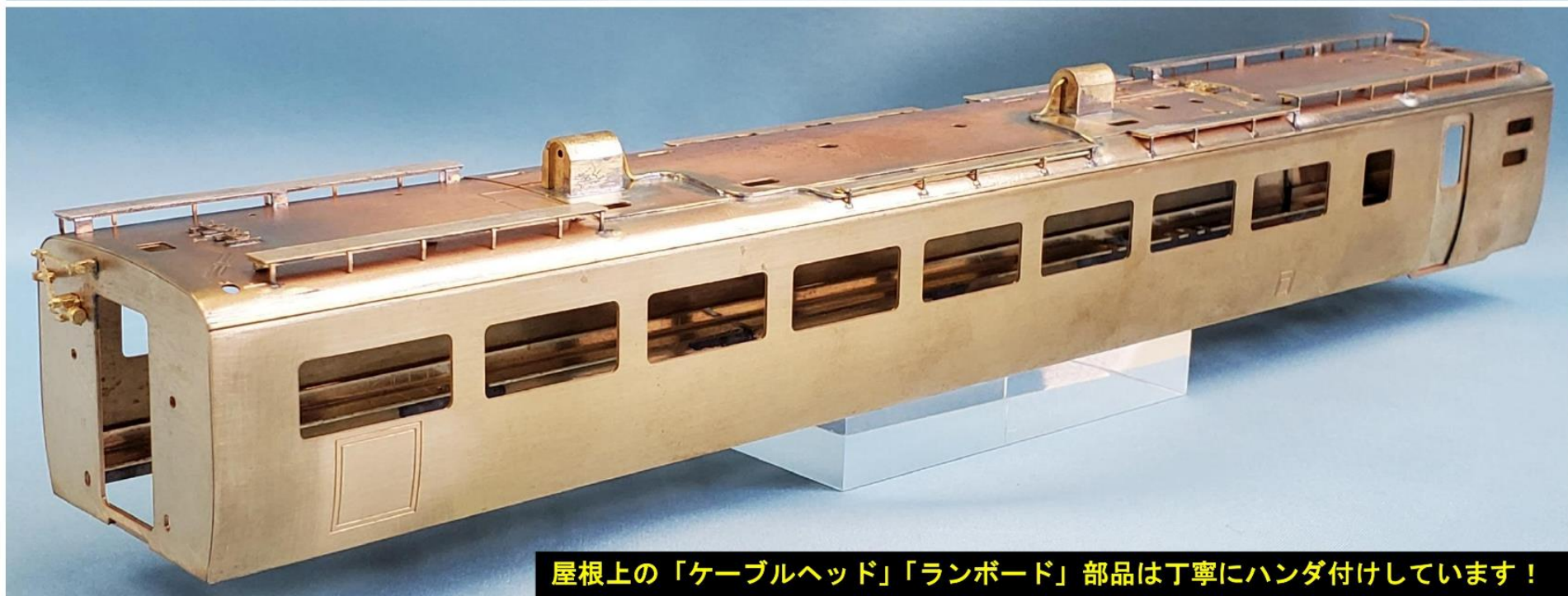
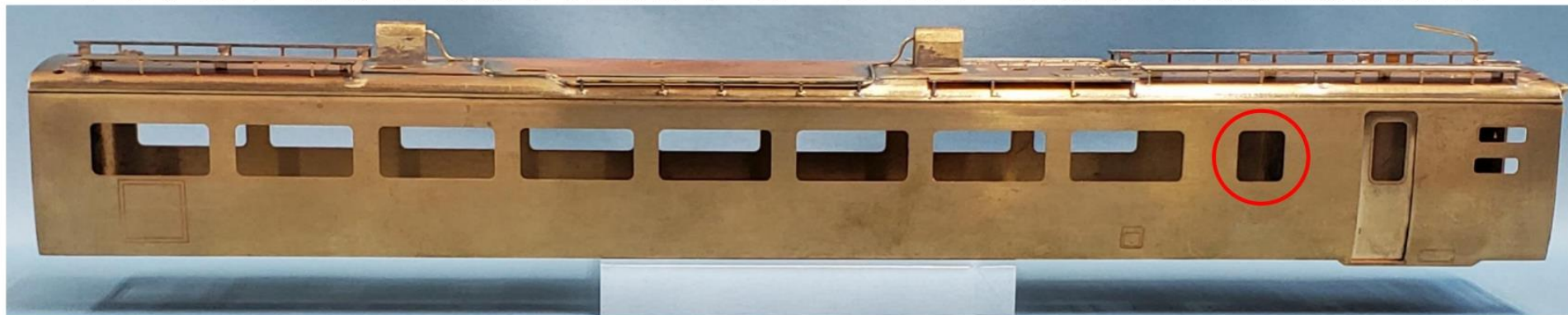


KTM®

国鉄485系“特急形電車”

「Express train STORY Vol.2」

ハンダ付け工程から「専務車掌室」付の「モハ484-601～614」の試作品が出来ました！



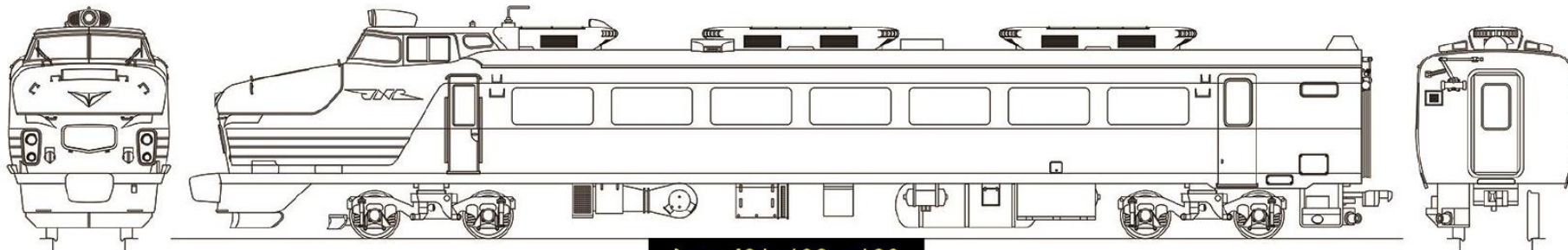
屋根上の「ケーブルヘッド」「ランボード」部品は丁寧にハンダ付けしています！

KTM®

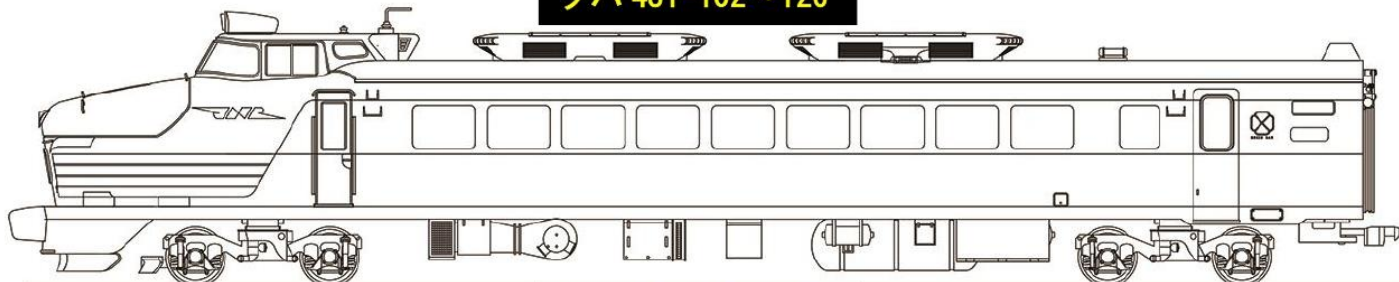
国鉄485系“特急形電車”

「Express train STORY Vol.1」

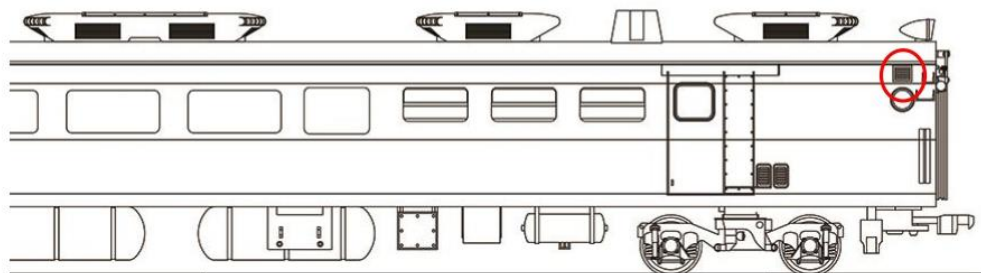
創業75年！新たな歴史に名を残す「485系ボンネット形特急」の製品化にご期待ください！



クハ 481-102~126



クロ 481-102~104



サシ 481-15~29 ※通風口有り(赤印)



※画像は前回製品

再生産 モハ 484-1~43 ※クーラーは TOMIX 製に変わります

KTM®